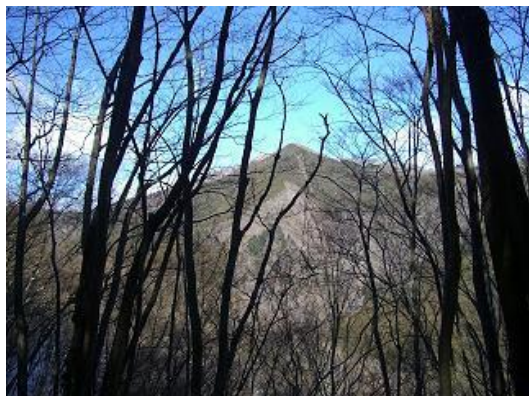


# 榎寄山・笹尾根

まきよせやま・ささおね(1188m)



バスに乗る頃には空が明るくなって来る。日が長くなってくるとほっとするけれど今年はまだまだ寒い。早く春が来てほしい。バスは2時間弱で中間平に到着し蛇の湯を後に登り始める。うっすら



とした雪の道と葉の落ちた枝だけの樹間を黙々と歩む。汗ばんでくるのでウインドブレーカーとフリースを脱ぐ。雪の下は氷なので滑る。アイゼンつける。人と木の影が白い雪に投影して白黒の模様を描く。西原峠で右に入ると榎寄山へ。およそ2時間。1000mを超える尾根にでると寒さ忍び寄る。富士山の眺めが素晴らしい。また峠に戻って笹尾根を南に下る。文字通り雪に埋もれた笹が顔を出している。昔の人は武蔵と甲斐の国を分けた峠を行き来したのだろう。平坦な尾根道だけれど左右は傾斜の雪道なので滑り落ちないように慎重に歩む。途中

ベンチのある眺望のよいところで早い昼食をとる。今日の主役の富士山が左手に丹沢の山並みを右手に山梨百名山の諸峰を従えて白い衣をまとっている。どれがどこの山か特定はできないけれど。近くの山肌は木の生えている蒼黒いところと木を切り取った雪の積もっている白いところが三角模様で入り混じっている。枯れた草に座ってぬくぬくと陽の光を浴びながら他愛のないおしゃべりを楽しむ。他のグループのメンバーも風のこないところで日光浴をしている。老後の暮らしはこうでありたい。まだ老後にはいっていないと小じわのよった顔で抗議する方もいらっしゃるけれど。笛吹峠から下りに入る。笛吹をうずしきとよぶことを学習する。老いてますます賢くなっていく自分がそろ恐ろしい。途中アイゼンはずすが、つるつると滑る。つららになった小さな滝をみて舗装道路をくだると檜原街道にでてゴールイン。今日も皆無事で良かった。そうだ、まだ山岳保険の払い込み



が済んでいなかったなあ。ドライブインに立ち寄っておみやげと酒を買いこむ。日はまだまだ明るい。

